



日本テクノセンターでは、実務者、ビジネスマンを対象にキャリアアップや経営革新に必要なソリューションサービスを提供しています

検索
検索キーワード/ID

セミナー・研修についてのお知らせ

東北地方太平洋沖地震の被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。
3月14日(月)より停電の影響も無く平常通りセミナーを開催致しております。

[ホーム](#) [マイページ](#) [セミナー・研修一覧](#) [出版物](#) [ソフトウェア](#) [講師派遣](#) [よくあるご質問\(FAQ\)](#) [人材募集](#) [会社概要](#)

土曜日開催セミナー

接着接合部における最適接着剤・表面処理法選定と耐久性加速試験およびトラブル対策

会員用ログイン

Eメール
パスワード

マイページへ

[パスワード再発行](#)

会員登録

[プライバシーポリシー](#)

- セミナーの登録が簡単になります。
- お勧めセミナーをメールでご紹介いたします。

[会員の新規登録はこちら](#)

弊社アクセス



[RSSについて](#)

[特定商取引法に基づく表記](#)

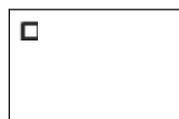
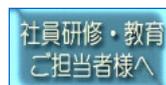


[日本テクノセンターはセカンドライブに出展しています](#)

[このセミナーに参加申込する](#)

お申込み期限が過ぎました。

- [工場、事業所における省エネ対策実践講座 \(7/2\)](#)
- [未来のビジョンを描き、習慣化の技術を習得する特別講座 \(8/6\)](#)
- [相手を納得させる企画・提案書の書き方実践講座 ～演習付～ \(8/27\)](#)
- [部下の力を最大限に活かす成果を出す実践マネジメント養成講座 \(8/27\)](#)



[弊社のロゴ・バナーはこちら](#)

■ 概要

・各被着材および接合部に適した接着方法を修得し、安心安全な製品を開発しよう！

■ 日時

2011年 6月 7日(火) 10:30～17:30

■ 受講対象

・強度および耐久性に優れた接着接合部の設計を必要とする化学技術者および機械技術者

■ 予備知識

・基礎的なことから解説するため、特に予備知識は必要としない

■ 修得知識

・自己の構造物に接着接合を適用するに際し、トラブルを最小限とするように、接着剤、表面処理法、接合部の構造等の選定手法の修得、接着接合部の疲労および環境耐久性評価方法の修得ができる

■ 講師の言葉

接着力発現の原理、各被着材および接合部に適した接着剤の選定方法、各種被着材に適した表面処理方法の選択方法、各種接着接合部の応力分布と最適接合部の設計法、接着接合部の安全率の考え方、接合部の環境劣化と加速試験の原理および加速による環境耐久性、疲労強度評価、ならびに主な接着トラブルとその原因および対策について解説する。

■ プログラム

- I. 接着の原理
 1. 分子間引力
 2. 接着剤の役割
 3. 投錨効果
 4. シーリング材の接着力発現の原理と役割
 5. 粘着剤の接着力発現の原理及び役割
- II. 接着剤(主として構造用)の種類、特徴および選定方法
 1. 各種被着材に適した接着剤の選び方
 - a. 溶剤のSP値(溶解性指数)と高分子物質のCED(凝集エネルギー密度)との関係
 - b. 各種高分子物質のSP値
 - c. 被着材のエネルギーによる分類
 - d. 被着材に対する最適接着剤の選定法
 2. 一般構造用接着剤(液状)
 - a. エポキシ系接着剤
 - b. アクリル系接着剤(SGA)
 - c. ポリウレタン系接着剤(室温硬化型)
 - d. シリコン系接着剤

- e. 変成シリコーン系接着剤
- f. その他の樹脂系接着剤
- g. 吸油性接着剤とそのメカニズム

Ⅲ. 被着材に適した表面処理法の選定

1. 各種表面処理法
 - a. 表面汚染物質の除去
 - b. 研磨
 - c. 脱脂(酸、アルカリ、有機溶剤)
 - d. サンドブラスト処理
 - e. ショットブラスト処理
 - f. ケミカルブラスト処理
 - g. プラズマ処理
 - h. その他薬品処理
 - i. 陽極酸化処理
 - j. プライマー処理
2. 各材料別表面処理法
 - a. 炭素鋼
 - b. ステンレス鋼
 - c. アルミニウム合金
 - d. 主なプラスチック

Ⅳ. 各種接着接合部の応力分布、最適接合部の設計および安全率

1. 各継手の応力分布(引張り荷重、曲げ荷重、接着層収縮の場合)
 - a. 重ね合せ継手
 - b. 突き合せ継手
 - c. スカーフ継手
2. はく離の場合の応力分布
3. スポット溶接-接着併用継手の応力分布(ウェルドボンディング)
4. 最適接合部の設計
5. 安全率について

Ⅴ. 接着接合部の湿潤-応力負荷条件下の環境耐久性

1. アレニウスモデル(温度条件)による耐久性加速試験および寿命推定法
2. アイリングモデル(応力条件)による耐久性加速試験および寿命推定法
3. 湿潤-応力負荷条件下の耐久性寿命推定法および耐久性試験結果
4. 水による接着剤および接着部の劣化のメカニズム

Ⅵ. 接着接合部の疲労試験方法および疲労試験結果

1. アイリング理論から誘導されるS-N曲線
2. マイナー則(線形損傷則)
3. 接着継手の疲労試験結果
4. スポット溶接-接着併用継手の疲労試験結果
5. リベット-接着併用継手の疲労試験結果

Ⅶ. 接着トラブルの原因別分類と対策および経時的劣化によるトラブル発生メカニズム

1. 原因別分類とその対策
2. 経時的劣化によるトラブル発生メカニズム

Ⅷ. 質疑応答

講師の38年間にわたる構造接着研究の経験をもとに、ご質問に回答致します

■ 受講料(消費税等込)

1名:47,250円

同時複数申込の場合1名:42,000円

■ 会場

日本テクノセンター研修室

住所:東京都新宿区西新宿二丁目7-1 小田急第一生命ビル 22階

- JR「新宿駅」西口から徒歩10分
- 東京メトロ丸ノ内線「西新宿駅」から徒歩8分
- 都営大江戸線「都庁前駅」から徒歩5分

電話番号 : 03-5322-5888

FAX : 03-5322-5666

読み込み中...

[このセミナーに参加申込する](#)

[<ホームに戻る](#) | [セミナー一覧に戻る](#)

Copyright(C) 日本テクノセンター All rights reserved.

TEL:03-5322-5888 FAX:03-5322-5666 E-Mail: [Send Your E-Mail](#)

